

8-4-34 マネジメントシステム委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の運営方針

「システム改善」「環境配慮」「PFI」「PM」「アセットマネジメント（以下、「AM」と記す。）」の5つの専門委員会により、広くマネジメントの実効性向上と普及拡大を目指し、管理、業務の両面から活動を進めた。

委員会の活動目的は次の5点に関連する調査・研究および広報とした。

- ① マネジメントシステムの実効性向上
- ② 環境配慮の推進
- ③ PFI/PPP 市場拡大・啓発活動の取り組み
- ④ CM/PM 関連技術の向上・周知とマネジメント領域の拡大への取り組み
- ⑤ AM の社会実装への取り組み

(2) 委員会の開催

委員会は11回開催した。

(3) 白書ならびに要望と提案

「建設コンサルタント白書」で複数パートを執筆した。また、「要望と提案」においては「企業経営の安定と処遇改善・新たな事業推進形態に向けての環境整備」の原稿を作成した。

(4) マネジメントセミナーの開催

新型コロナウイルス感染症の感染者数が減少傾向であったことから、集合方式とオンラインを併用したセミナーを開催した。

- a) 開催日：令和4年9月28日（水）
- b) 配信場所：赤坂インターシティコンファレンス
- c) 集合会場からの高品位なライブ配信（後日、見逃し配信あり）

セミナー実施内容は、「PPP/PFI の政策動向と事例紹介」「CM方式の更なる普及に向けて」「環境配慮経営の実践に向けて」「マネジメントシステムの効果的運用に向けて」及び「AMの社会実装に向けて」の全5講で、会員参加は339社1,068名、発注者は11名と合計1,079名の参加をいただいた。アンケート調査結果によれば、各セッションとも高い評価を得て、「非常に役立つ」「役に立つ」の回答が95～99%、また99%

以上の方々から今後の継続開催の要望があった。

(5) 外部情報の収集など

システム改善専門委員会と環境配慮専門委員ではISO認証等に関する会員企業へのアンケート調査、環境配慮専門委員会では、企業代表者に環境配慮経営に関するヒアリング調査を実施した。

PM 専門委員会は国土交通省と連携して、10月に協会支部各企業への事業促進PPP等に関する意識調査を、AM 専門委員会では12月に地方公共団体におけるAMの有効性や理解促進を目的としたアンケート調査をそれぞれ実施した。

また、PFI 専門委員会では、異業種（地銀系シンクタンク）との意見交換を実施した。

(6) 各専門委員会でのセミナー、勉強会の実施

12月に「品質管理の有効性と生産性を高めるための変化点管理の勘所（システム改善専門委員会）」、1月に「建設コンサルタントのカーボンニュートラルへの取り組みに向けて（環境配慮専門委員会）」、2月に「カーボンニュートラル実現に向けたPPP/PFIの取り組み（PFI専門委員会）」、「事業促進PPP方式のガイドラインと業務の実態等（PM専門委員会）」と題するセミナー等を開催した。

(7) 内閣府専門家派遣

PFI 専門委員会では、内閣府専門家派遣に24件（昨年度9件）に対応した。うち1件は、AM 専門委員会が道路包括的維持管理にかかるPPP/PFIの活用事例と留意点と題して講演した。

(8) その他の活動

未来塾対応WGの下で事業促進PPPワーキングを国と開催した。また、インフラメンテナンス国民会議、土木学会（ISO対応特別委員会）に参加する他、JAAMの活動にも協力している。

2. 次年度の活動について

引き続き、それぞれの専門委員会活動を通して会員企業へのマネジメントシステム等の最新情報の提供や事業の啓発及び拡大に努める。

（マネジメントシステム委員会委員長 畔柳 耕一）